

# ロシア・東欧学会 Newsletter No.8

The Japanese Association for Russian and East European Studies

## 2004 年度大会 自由論題報告希望者募集 締め切りは5月末日必着

ロシア・東欧学会ホームページでお知らせしているように、2004 年度大会は北海道大学スラブ研究センターで10月9日(土)・10日(日)に開催されます。

この大会で10月9日(土)・10日両日のそれぞれ午前中に行われる自由論題による報告を希望される会員は、2004年5月末日までに、氏名、住所、電話番号、所属、報告のタイトル、報告要旨(400字以内)を、ロシア・東欧学会事務局まで e-mail (やむを得ない場合は FAX または郵便で) お知らせ下さい。

この報告要旨は、分野別に編成される分科会への割り振りを決定する際の参考にするためのものです。大会当日に配布するレジメではありません。レジメの提出期限等については、別途、各報告者にお知らせしますが、8月末ぐらいがメドになります。

自由論題の分科会は、例年は、2日目に行われていましたが、今年度大会では、1日目と2日目の両日、それぞれ午前中に行います。時間は、1日目(10月9日)の10:00-12:15と2日目(10月10日)の12:30-12:30です。やむを得ない事情でとくに報告希望日がある場合には、1日目あるいは2日目を希望などお知らせください。ただし、類似の内容の報告をまとめて一つの分科会をつくるというプログラム編成の原則がありますの

で、必ずしもご希望に添えない場合がありますのであらかじめご承知おきください。

また報告者数は、全分科会で合計14名程度となります。したがって、自由論題報告希望者数とその数を上回った場合には、同一会員が2年連続で報告するのを避ける、過去の報告回数の少ない会員を優先する、当学会における報告として論題が適切かどうかを考慮する、という原則によって理事会・企画委員会が検討し、報告をご遠慮いただく場合がありますので、この点もあらかじめご承知おき下さい。

## 年会費、維持会費の納入と ご寄付のお願い

新年度に入りましたので、2004年度分の年会費の納入をお願いいたしたく、この「ロシア・東欧学会 Newsletter No.8」といっしょに郵便振替用紙を同封させていただきました。

一般会員の年会費は8,000円、院生会員の年会費は5,000円となっておりますので、なるべくお早めに、納入いただけますようお願い申し上げます。なお、年会費と同額の維持会費あるいはご寄付のご協力をお願いできれば幸いです。

また、お手数ですが、郵便振替用紙の通信欄の所定の場所に、必ずお支払いになる会費の年度をご明記ください(滞納のない会員は「2003」とご明記下さい)。維持会費にご協力いただける場合には、口数と金額(1口で8,000円となります)を、ご寄付にご協力いただける場合には、ご寄付の金額を所定欄にご記入ください。住所・電話番号・

**氏名欄も忘れず**にご記入下さい。なお、**所属先などの変更**がございましたら、通信欄の余白にご記入下さい。

大会当日、受付にて年会費の納入を受けておりますが、会場受付事務の簡素化と間違いを防ぐためにも、年会費はなるべく郵便振替にて納入いただけますようお願い申し上げます。

また、**2001年度から2003年度までの会費の未払い分のある方**につきましては、別途、何年度分が未納となっているかについてのお知らせも同封させていただきましたので、その方は、恐縮ですが、未納分もあわせて納入いただけますようお願い申し上げます。

## 『ロシア・東欧学会年報「ロシア・東欧研究」』原稿募集

論文、研究ノート、書評、資料紹介の原稿を募集しています。応募締切は12月15日、原稿締切は翌年4月30日です。そのほか詳しいことはロシア・東欧学会ホームページの会則・諸規程のページないしは年報第30号(2001年版)巻末の「投稿規程・執筆要領」をごらん下さい。

投稿申込先・原稿送付先  
 ロシア・東欧学会誌編集委員会  
 〒252-8520 神奈川県藤沢市遠藤 5322  
 慶應義塾大学藤沢キャンパス総合政策学部  
 香川敏幸研究室(505) 気付  
 Tel & Fax: 0466-49-3491;  
 E-mail: [kgw@sfc.keio.ac.jp](mailto:kgw@sfc.keio.ac.jp);  
 URL: <http://www.sfc.keio.ac.jp/~kgw/>

## 2003年度第3回理事会開催

2003年12月21日(土)、法政大学市ヶ谷キャンパスで2003年度第3回理事会が開催されました。冒頭、2003年度大会で新たに選任された袴田茂樹代表理事および藤本和貴夫副代表理事が挨拶されました。

理事会では以下の報告および審議が行われました。2004年度大会開催校について、2004年度

大会開催校は、北海道大学スラブ研究センター、開催日程が2004年10月9日(土)・10日(日)、開催校代表者・林忠行理事、事務局報告・2003年12月時点での会員数と会費納入状況(表1)および退会者についての事務局報告 会誌編集委員会報告・編集委員の選任。2004年度大会内容について、共通論題は、第1共通論題「ロシア・東欧と米国のユニラテリズム」、第2共通論題「新時代のロシア・東欧」と決まりました。共通論題プログラムの詳細の決定および報告者・座長などの選任・依頼が企画委員会に一任されました。

入会希望者の審査・承認。2003年度仮決算および2004年度予算について、現状では繰越金を毎年食いつぶしていく状況なので、早晚、会費を1万円に値上げしたほうがよいとの議論。日本学術会議(経済政策研究連絡委員会)関連：溝端佐登史理事より、19期の委員会の報告と、3月28日の経済政策研究連絡委員会主催の学術シンポジウムについての報告。

本理事会で報告された2003年度における本人の申し出による退会者は以下の3名です(五十音順・敬称略)。高山智、松田潤、三友宏。なお、この他に3年以上会費未払い・無連絡による2003年度末の退会者が7名、1法人あることが報告されました。

すでに2003年度第2回理事会ですでに選出されている会誌編集委員長・香川敏幸理事の指名および提案により、本理事会で選任された編集委員は以下のとおりです(敬称略)。溝端佐登史理事(副委員長)、上野俊彦理事、大中真会員、小澤治子理事、末澤恵美理事、兵頭慎治会員、松井弘明理事。

本理事会で選出された企画委員は以下のとおりです(敬称略)。松井弘明理事(委員長)、上野俊彦理事、末澤恵美理事、中津孝司理事、林忠行理事(大会開催校責任者)、宮本勝浩理事、羽場久尾子(事務局)。

表1 2003年12月の時点での会員数と会費納入状況

	会員数		会費納入者数		会費未納者数	
	02年度末	03年12月	02年度末	03年12月	02年度末	03年12月
一般会員	241	230	211	195	27	45
院生会員	35	43	32	39	3	6
法人会員	4	4	3	2	1	2
名誉会員	9	9	支払義務なし			
合計	290	298	246	245	35	53

届け出による2003年度末退会予定者3名(すべて一般会員)を含む。

今回の理事会での入会承認予定者含まず。

表2 2003年度仮決算および2004年度予算

	2003年度予算	2003年度仮決算	2004年度予算
収入の部			
前年度繰越金	1,264,659	1,264,659	983,689
会費(注1)	1,890,000	1,908,000	1,890,000
個人	1,830,000	1,848,000	1,830,000
正会員	1,680,000	1,683,000	1,680,000
院生会員	150,000	165,000	150,000
団体	60,000	60,000	60,000
維持会費	24,000	128,000	24,000
寄付	250,000	86,000	250,000
利息	30	5	30
雑収入	20,000	8,135	20,000
収入小計	2,184,030	2,130,140	2,184,030
総計	3,448,689	3,394,799	3,167,719
支出の部			
大会費	300,000	300,000	300,000
年報発行費	1,000,000	1,114,050	1,000,000
年報印刷費	1,000,000	1,114,050	1,000,000
事業費(注2)	25,000	5,000	25,000
学術会議費用	40,000	30,000	40,000
事務局費	30,000	22,570	50,000
事務用品・コピー代	50,000	45,267	49,030
会議費補助	660,000	398,017	600,000
選挙管理費	50,000	81,023	0
会員名簿印刷代	30,000	0	30,000
通信費	50,000	82,135	30,000
利息・手数料料金(注3)	30,000	19,715	30,000
予備費(注4)	200,000	20,000	200,000
支出小計	2,465,000	2,097,777	2,354,030
繰越金	983,689	1,297,022	813,689
総計	3,448,689	3,394,799	3,167,719

(注1) 2004年度予算の個人会費額は納入率80%(正会員210人、院生会員30人)で試算。ただし、繰越金に目減りが多く、会費の値上げも中・的には検討する必要あり。

(注2) 事業費は、JECREESおよび2003年度から地域研究会連絡協議会の負担金。

(注3) 「利息・手数料」は、事務局費に含まれる銀行手数料を郵便振替払込料金と合わせたもの。

(注4) 予備費は大会の際に施設使用料などが必要な場合の支出にあてる。

## 2004 度大会 共通論題プログラム決まる

2003年12月21日に開催された2003年度第3回理事会は、2004年10月9日(土)・10日(日)に北海道大学スラブ研究センターにおいて開催されるロシア・東欧学会第33回大会の共通論題を「第1共通論題：新時代のロシア・東欧」と「第2共通論題：ロシア・東欧と米国のユニラテラリズム」に決定しました。

さらに同理事会は、企画委員会を編成し、プログラムの作成を一任しました。そして、企画委員会によって以下のような共通論題プログラムが決まりました。

### 2004年10月9日(土)大会第1日目

#### 午前の部 自由論題

#### 第1分科会

- 第1報告 10:00-10:45
- 第2報告 10:45-11:30
- 第3報告 11:30-12:15

#### 第2分科会

- 第1報告 10:00-10:45
- 第2報告 10:45-11:30
- 第3報告 11:30-12:15

#### 休憩

12:15-13:45

#### 午後の部 第1共通論題

#### 「新時代のロシア・東欧」

座長 宇多 文雄(上智大学)

- 第1報告 13:40~14:10  
報告者 永綱 憲悟(亜細亜大学)
- 第2報告 14:10~14:40  
報告者 上垣 彰(西南学院大学)
- 第3報告 14:40~15:10  
報告者 仙石 学(西南学院大学)

#### 休憩

15:10~15:25

予定討論 15:25~16:00

討論者 上野 俊彦(上智大学)  
宮本 勝浩(大阪府立大学)

家本 博一(名古屋学院大学)

報告者回答 16:00~16:30

全体討論 16:30~17:30

懇親会 18:00~20:00

札幌アスペンホテル

2004年10月10日(日)大会第2日

午前の部 自由論題

#### 第3分科会

- 第1報告 9:30-10:15
- 第2報告 10:15-11:00
- 第3報告 11:00-11:45
- 第4報告 11:45-12:30

#### 第4分科会

- 第1報告 9:30-10:15
- 第2報告 10:15-11:00
- 第3報告 11:00-11:45
- 第4報告 11:45-12:30

#### 休憩

12:30-13:30

#### 午後の部 第2共通論題

#### 「ロシア・東欧と米国のユニラテラリズム」

座長 木村 汎(拓殖大学)

第1報告 13:30~14:00

報告者 小澤 治子(新潟国際情報大学)

第2報告 14:00~14:30

報告者 林 忠行(スラブ研究センター)

予定討論 14:30~15:15

討論者 松井 弘明(大東文化大学)

六鹿 茂夫(静岡県立大学)

古矢 旬(ゲスト・北海道大学)

#### 休憩

15:15~15:30

報告者回答 15:30~15:40

全体討論 15:40~16:40

### ロシア・東欧学会事務局

〒102-8160 東京都千代田区富士見町2-17-2

法政大学市ヶ谷校舎ボアソナード・タワー16階

羽場久尾子研究室気付

e-mail: [kumikoh@i.hosei.ac.jp](mailto:kumikoh@i.hosei.ac.jp)

URL: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/roto/index.html>